

質問事項		記述式回答
来年秋を見据えて、現在の景気の基調		
1	9月16日の経済財政諮問会議において、2015年秋を見据えて、現在の景気の基調を見る際、以下の5項目について今後注視すべきとされました。これらを参考に、現在の景気の基調や考慮すべきリスクをどうご覧になっているか、また、とるべき対応があれば、合わせて300字以内でご記入ください。 ① 消費の安定的増加、それを支える雇用者数・賃金の伸び(正規比率の上昇を含め)や消費マインド ② 企業収益の動向、民間設備投資の強さ(設備投資計画の動向も含む) ③ 輸出入の動向、交易条件の動向 ④ 物価動向(一時的要因を除いた実勢と期待物価) ⑤ マーケット(株価、為替、金利等)の動向	労働市場では正社員の有効求人倍率が上昇したり、非正規から正規に転換したものが増えるなど、一部に明るい動きが見られるものの、一致指標である新規求人数が減少するなど、予断を許さない状況にある。また給与についても6～8月の特別給与は上がったが、所定内給与の上昇率は低く、依然として現金給与総額の伸びは消費者物価の上昇を下回っており、消費支出は低迷が続いている。
地方創生・地域活性化		
2	地方創生・地域活性化に向けて、重点的に取り組むべき課題及び対応策につき、ご自身(自社)の知見・経験も踏まえてお考えを300字以内でご記入下さい。その際、地方が抱える課題の背景についても、併せてご記入下さい。	地方の雇用を支えている中小企業では経営者の高齢化、後継者がいないことから、中長期的に見て閉鎖を検討している企業が多く、借金をしてまで投資をしようとする企業は少ない。他方、新規開業率は依然として低い。今後魅力ある遣り甲斐のある仕事を増やしていくには、経営人材を含めた人の地方への流れを作っていく必要があり、税制や補助金等においてもこれを支援する必要がある。
その他		
3	10月下旬の為替相場は107円台付近で推移しています。最近の為替相場の動向やその景気への影響について、ご見解があれば300字以内でご記入ください。	変動が大きすぎ、あまりにも円安になった場合、景気にも芳しくない影響が生まれてくることが懸念される。